

神戸発 復興危機管理



2013.5.15 京大危機管理特論
神戸学院大学「防災・社会貢献ユニット」講師 金芳 外城雄

1

2030年発災予測

- 京都大学大学院人間・環境研究科教授の鎌田浩毅氏が「特別授業3・11君たちはどう生きるか」(河出書房新書、12年3月)の中で、「南海トラフで起きる巨大地震の連動は、今回の東日本大震災がただちに誘発するものではなく、まったく独立に起きるということです。というのは、南海トラフ沿いに起きた巨大地震の過去五回程度の記録を見ると、時間的な規則性があるからです。したがって「3・11」とは関係なしに、南海トラフ上のスケジュールに従って2030年代に起きる、と専門家は予測しているのです」

2

淡路で震度6弱 (13.4.13 午前5:33)

- 18年前の恐怖再び 屋根揺れ 道路に亀裂
- 阪神以来の揺れ 阪神と異なる逆断層型
- M6.3 5府県21人怪我
- 重症者 7人 兵庫県5人(うち淡路島2人)
- 軽傷者16人 兵庫県9人(うち淡路島6人)
- 長周期振動淡路で 階級2の揺れ
- 住宅損壊 1200戸超 一部で断水
- 4/17三宅島震度5強 ■4/17宮城県沖震度5弱

3

生きた阪神の教訓

- 各自治体の迅速対応
洲本市の職員500人中300人出勤し
被害確認、ブルーシート無料配布など
- 兵庫県の「フェニックス防災システム」の稼働
想定発生7分で「死者10人、負傷者76人、
全半壊 1948棟、避難者1万6778人」
- 兵庫県の行動 非常食3千食、毛布3千枚
搬送三木市防災拠点から淡路島へ
- 悲観的に準備し、楽観的に対処する

4

二つの巨大災害

東日本と阪神大震災の被害状況

- 死者:15,881名(阪神6,434人)
- 行方不明:2,668人(3/8)
- 全壊:129,101棟(阪神:104,90棟)
- 半壊:254,057棟(阪神:144,27棟)
- 直接被害16-25兆円(阪神 10兆円)
- がれき処理2,670万トン 阪神の1.3倍
1/末1628万トン (阪神 2,000万トン)
- 県外避難者 73,466人

5

東日本大震災 2年

- 震災関連死2601人(10都県で) 3/11 読売
- 主な事例
- 避難所生活での疲労(33%)
- 避難所への移動中の疲労(21%)
- 病院の機能停止による症状の悪化(15%)
- 地震津波による疲労(8%)
- 体調不良や見舞客減少による刺激低下など

6